

宮崎県の漁場整備

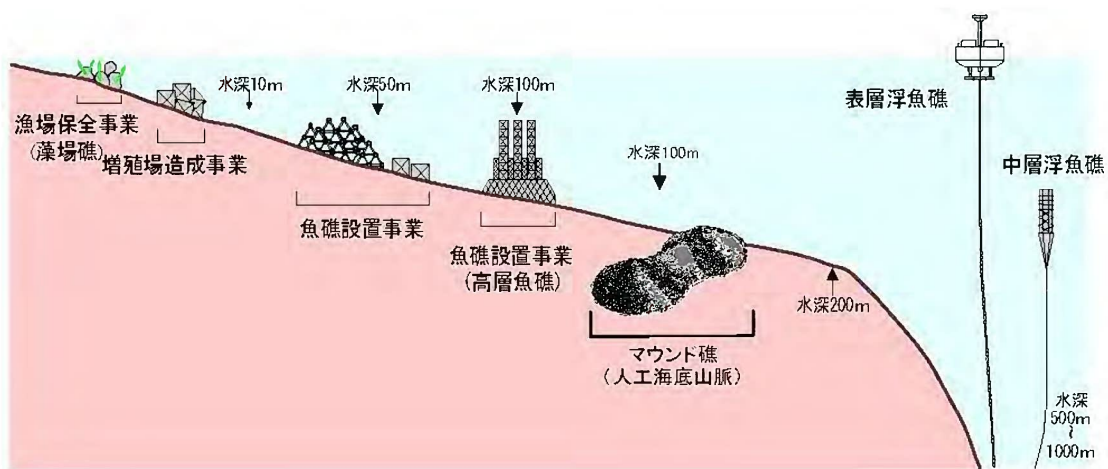
本県沿岸地形は単調で、湾入に乏しく、また、海底地形においても天然瀬礁に恵まれず、魚類等の滞留性に欠けるため、従来から魚礁設置及び増養殖場造成等の基盤整備事業を展開し、生産性の向上、効率的な操業による漁家経営の安定・向上に努めてきました。

本県では、主に昭和51年度から平成13年度まで実施した第1次から第4次の沿岸漁場整備開発事業と、平成14年度から平成23年度を計画期間とした特定漁港漁場整備事業計画（広域漁場整備計画）により水深等の海域条件や漁業種類に最も適した魚礁漁場の造成を図ることで、日向灘の沿岸域から沖合域までの一体的な漁場整備を行ってまいりました。

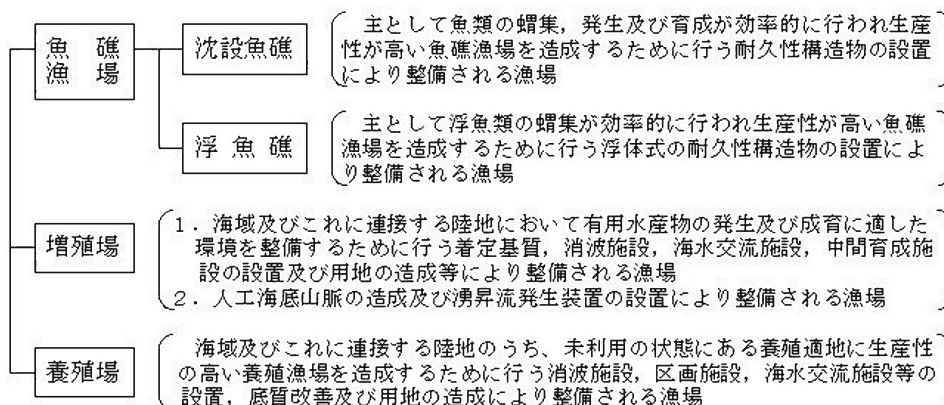
平成21年度からは新たな取り組みとして、日向灘海域の基礎生産量の向上を目指し、水深の深い海底に温存されている栄養分を湧昇させ、プランクトンの増殖を促進するためのマウンド礁（人工海底山脈）を整備しており、かつお一本釣漁業や曳縄漁業の漁場である大陸棚沖合の大水深域では、カツオ・マグロ類の回遊路となる黒潮縁辺部への浮魚礁漁場の整備を行っています。

更に、平成29年度からは、漁業情報データベースによる漁業情報の集積と解析等を基に水産環境整備マスタープランを策定し、効果的な増殖対策を進めていきます。

日向灘の一体的な漁場整備イメージ図



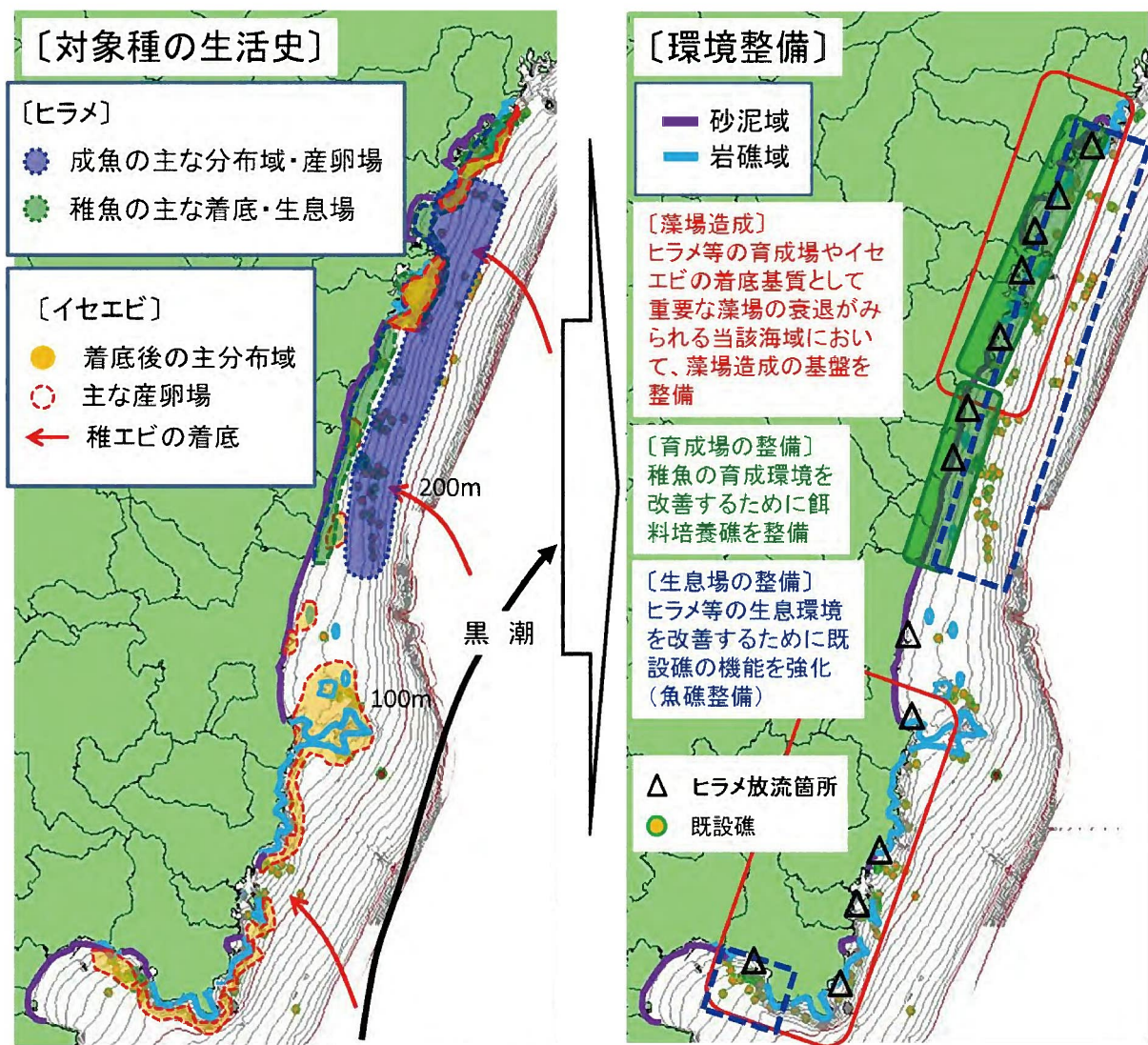
参考（漁場整備の種類）



現漁場整備計画（平成29～33年度）

地区	漁場	施工期間	計画施設	工事種目	計画事業量	備考
日向灘沖合	日向灘沖合	H29～33	浮魚礁	浮魚礁	浮魚礁 N=6基	
日向灘沿岸	日向灘沿岸	H29～33	魚礁 藻場礁	魚礁・ 増殖場	魚礁 V=18,750 空 m3 増殖場 A=1.5ha	

水産環境整備マスタープラン



※本県の資源評価において、資源水準が中位～低位と評価されたアオリイカ、イサキ、イセエビ、カサゴ、チダイ、ヒラメ、マダイを指標種に選定し、これらの生活史に対応した環境整備を計画・実施することにより、資源の回復を図り、生産性の高い漁場を構築する。

○日向灘沖合漁場

(平成29年6月更新)

(世界測地系で表示)



中層型浮魚礁位置	
1号	131° 51' 54" 31° 44' 47"
2号	131° 50' 35" 31° 43' 51"
3号	131° 51' 25" 31° 44' 30"
4号	131° 50' 49" 31° 44' 12"
5号	131° 52' 39" 31° 58' 34"
6号	131° 53' 13" 31° 58' 19"
7号	131° 39' 10" 31° 22' 00"
8号	131° 38' 37" 31° 22' 24"
10号	131° 29' 32" 31° 16' 45"

○日向灘沿岸漁場

